

## 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023006847

事業名:大阪府高槻市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営と車両整備(3年目)

団体名:特定非営利活動法人クラウドサイン

代表者名:理事長 小林 将元 印

TEL:072-692-0010

事業完了日:2024年3月31日

### ■契約時

|       |   |              |
|-------|---|--------------|
| 事業費総額 | : | 12,600,000 円 |
| 自己負担額 | : | 0 円          |
| 助成金額  | : | 12,600,000 円 |

■箇所は「収支計算書」より自動転記

### ■事業完了時

|          |   |              |                      |
|----------|---|--------------|----------------------|
| 事業費総額    | : | 12,613,141 円 | 収支計算書の黄のセルの値         |
| 自己負担額    | : | 13,141 円     | 収支計算書の緑のセルの値         |
| 助成金額     | : | 12,600,000 円 | 収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨 |
| 助成金返還見込額 | : | 0 円          | (収支計算書の青のセルの値)       |

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 大阪府高槻市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日(週3日、14時から18時まで開所)  
(2)場所:大阪府高槻市  
(3)対象:30名(家庭や自身に課題を抱える小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。送迎用車両を整備し、保護者による送迎が難しい子どもも支援する。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 大阪府高槻市における「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日(週3日、14時から18時まで開所)  
(2)場所:大阪府高槻市  
(3)対象:30名(家庭や自身に課題を抱える小学校低学年を中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完した。送迎用車両を整備し、保護者による送迎が難しい子どもも支援した。

#### (3)成功したこととその要因

利用者が12名程度。小学校6年生の不登校児童が中学入学に期待し始め、高校進学に全く関心のなかったものが進学する。市内の公的機関に馴染めない児童が安定して利用できている実態。コノイロの現状規模と雰囲気や取り組みは今の子どもたちに合っているとみられる。特に23年度事業では食育の子どもたちを雄勝町に連れていくことが出来た。子どもたちの関心度は不安を含めても高く、毎年の事業として全ての子どもたちに機会を提供したいと思うほどであった。

#### (4)失敗したこととその要因

外出や外向けの取り組みは難しい。室内で過ごすことに偏る。学生ボランティアの確保も困難。近隣の大学に参加の呼びかけに学部先生まで周知できていないのが課題の一つと考えている。地域の祭りや各種イベントにも積極的に参加し周知啓発をしていくべきと考えている。

#### (5)事業内容詳細

法人の性格が色濃く定着したとみている。ますます子どもの情緒の問題や不登校。親の病気で不安定な生活に陥るヤングケアラーと言われる子ども。医療機関に直接相談に行かれる前の相談場所としての機能を求められていると思われる。

貧困や生活困窮により食事や生活に問題のある子どもの利用は基より、背景にある課題が不登校または孤立状態となっている子どもの相談が主となっているのがコノイロの特徴と見られる。したがって、相談業務が重責と感じているこういった相談からケースワークし、医療機関に情報提供するまでを学校と共同することが可能となってきたは大きな一歩とみている。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

|  |
|--|
|  |
|--|

(2)事業内容の実施(完了)状況

|  |
|--|
|  |
|--|



(3)成功したこととその要因

|  |
|--|
|  |
|--|

(4)失敗したこととその要因

|  |
|--|
|  |
|--|

(5)事業内容詳細

|  |
|--|
|  |
|--|

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

|  |
|--|
|  |
|--|

(2)事業内容の実施(完了)状況

|  |
|--|
|  |
|--|



(3)成功したこととその要因

|  |
|--|
|  |
|--|

(4)失敗したこととその要因

|  |
|--|
|  |
|--|

(5)事業内容詳細

|  |
|--|
|  |
|--|

#### ■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

#### 2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を11名にする
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に月1回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

|       |     |         |    |
|-------|-----|---------|----|
| 入力文字数 | 107 | 文字数チェック | OK |
|-------|-----|---------|----|

2年間の取り組み実績と関係機関との交流から、本事業の存在価値や意味性は他市にも広がってきたと感じている。実際に茨木市や豊中市の子どもに関する担当課から視察や、当該市の事業化を検討する場への参加を求められている。

### 3.事業実施によって得られた成果

当法人には障がい者の就労支援事業所があるため組織内連携としてコノイロ利用者に就労体験が提供しやすい環境と言える。その事業所には農業部門があることでコノイロとのコラボは理想的と思い農業も取り入れることを目指していたが、放課後に農地へ行くのに無理があることから2023年度内に土日祝日のイベントとして体験学習を導入し、合わせてボランティアの確保に努めたいと考えている。また利用者層に関することで不登校や孤立状態といった問題を抱え、その背景に特性や家族に課題があるのを経験してきた。医療や教育機関の不登校支援の場につながっているものの本人が行けずに自宅にひきこもるケースをアウトリーチを通して問題の発見とコノイロや必要とされる場への誘導を残りの期間で整備したいと思っている。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

精神医療や障害福祉に携わっている現場であるからだと思うが、児童から思春期の者の「特性やグレーの対象者の行き場や参加できる日中活動の場が見当たらず困っている」の声を聞く場面が多くある。例えば医療につながっているが本人が受診されず家族だけが代理受診となっている。また不登校状態で担任が家庭訪問をするが、本人の登校意思より家族の意識の低さが課題。また家族が精神科受診していることで生活のリズムやバランスに問題がある。このようなヤングケアラー含め複雑な問題課題が山積しているのに直面する。子どもの自立や家族の自立を考えると関係する者が一丸となってみんなで対応することが大事だと思うが、行政機関との組織連携には至っていないのが現実。福祉は重層的自立支援体制の整備と謳っているが、同時に横断的な支援体制も意識すべきと考える。地味ではあるが関係機関と問題課題を共有し実践を通して整備する方向で活動していきたいと思う。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

・完了報告書  
・車両(写真等)



#### (2)事業完了時の成果物名称

・完了報告書  
・車両(写真等)

#### (3)未作成となった要因

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/30044>